

「より良い大岡にするために」 第3回市民ワークショップを開催しました

1月14日(日) 大岡支所にて「より良い大岡にするために」
第3回市民ワークショップを開催しました。

今回は、「大岡をより良くするために、やりたいこと、できることを考えよう」と「自分たちができること、活動の場を考えよう」をテーマに議論していただきました。皆様の熱心な話し合いによって、様々な意見をいただくことができました。

たくさんのご参加ありがとうございました。



ワークショップ会場の様子です



意欲的に取り組んでいただきました

第2回と第3回のワークショップでは「小さな拠点づくり」の視点で話し合い、地域をより良くするための具体的な取り組みについて意見発表していただきました。

次回からは、もう一つの視点である公共施設の見直しについての話し合いが始まります。

上平都市整備部長あいさつ



これまで大岡をより良くするための取組(小さな拠点づくり)を中心に議論していただきまして感謝申し上げます。

地域の皆さんが主体となる取り組みについては、小さなことでも良いので、「できること」というのがキーワードになると思います。

また、行政と連携するものについては、目標を共有しながら、一緒になってやっていきたいので、ご協力をお願いします。

- ◆ ワークショップについてご意見・ご質問などありましたら、遠慮なくお聞かせください。
- ◆ ワークショップは当日参加もOKです。気軽にお越しください。

【お問い合わせ先】

都市政策課 電話:224-5050
公共施設マネジメント推進課
電話:224-7592
大岡支所 電話:266-2121

大岡地区をより良くするための具体的な取組について 参加者の意見の一部をご紹介します



Aグループ

- ・移住者の働く場所を提供できるような組織やシステムをつくる
- ・大岡の宝物である山林を活用することで生活基盤を築く方法を考える
- ・Iターン、Uターンなど色々な方法で人口を増やす
- ・楽しく生活しているという実例を作り、口コミで広める



Bグループ

- ・バードテーブルの設置
- ・農業就業体験者の募集
- ・森林を整備し、自然を満喫してもらう施設を作る
- ・美味しい野菜が採れることを発信、地場産の野菜売り場を拡大
- ・移住希望者への就業場所や空き家紹介などの情報発信
- ・散策時にお茶ができる場所をつくる ⇒アルプス展望ふれあいセンター



Cグループ

- ・カフェ、山の飲み屋、手芸教室などをする ⇒民族資料館を活用
- ・移動手段確保のため「乗っけてマーク」を貼り、送迎に協力する
- ・安否確認のためのテレビ電話設置や防災無線更新
- ・移住希望者が宿泊体験できる「お試し民泊」⇒市営住宅



Dグループ

- ・高齢になり農業を続けることが困難になった人から農業を教えてもらう
- ・保母さんの資格を持つ人に協力してもらい保育園を存続させる
- ・地酒造りを本格的に行い販売する ⇒活性化センターなどに併設
- ・一人暮らしの高齢者に対し緊急対応のできる環境



Eグループ

- ・子育て支援の施設、ボランティアや学生の有志が協力してくれる場所
- ・学生が地域づくりについて考える授業
- ・Iターン、Uターン者や若い世代の人が活用できる古民家や農機具等の再利用や生活していく上での困りごとを相談するなど、情報共有できる場所をつくる ⇒未使用の建物を有効活用

今後は、ワークショップで出された意見をもとに、具体的な取組として始められる活動について地域の皆様と相談しながら検討してまいりますので、よろしくお願いいたします。

参加者アンケートより

- ◆すぐできる事、小さい事でも良いので皆で協力してできればいいなと思います。
- ◆具体(どう実行するか)の部分に入ってきたが、どうやって共有化させていくのかが問題である。
- ◆具体案を考えるのは大変です。 ◆まだどうすれば良いのかわからない。
- ◆グループ討議の中で出てくるアイデアは、一人で思い悩んでいるだけでは出てこないアイデアにあふれ、希望を持って大岡の将来を考える源になります。
- ◆意見を出すだけでは終わりがたくないと思います。始められることから形にしていくことができるワークショップにしたい。